

令和2年5月1日（金）

臨時休校再延長を受けて生徒の皆さんへのメッセージ

校長 内田

- 本日、柏市教育委員会から「臨時休校は5月31日まで延長する。」というお知らせがありました。3月4日から始まった臨時休校も3ヶ月目に突入します。
- 2年生、3年生と会えた貴重な数時間があった4月6日、放送で行った始業式で、「**忍耐と工夫**」というキーワードを伝えました。新入生にはとても残念ながら、まだ会えずにいますが、すでに柏中の1年生ですので、同様に受け取ってください。
- 政府からは「緊急事態宣言」が出され、世の中全体が大きな試練の中で「**感染拡大を阻止する**」ことで気持ちを一つにして努力しているところです。
- それでも、これだけ長く、しかも先の見通しが見えない中では、不安や辛さに押しつぶされそうになります。
- また、臨時休校も3ヶ月になりますので、1年の4分の1が失われることにもなります。皆さんの成長や発達にも影響が出るのではないかと心配しています。
- しかし、この**困難と試練を乗り越えたという経験**は、必ずや皆さんの成長につながり、大きな力になっていくものと信じています。
- 今は必然的に、ネットを使った情報伝達や学習の機会が増えていますが、情報は受けるのではなく、自分から積極的に取りに行きましょう。そして、**正しく有益な情報を選別できる目を鍛えていきましょう**。これらは、来たるべき「**Society 5.0 (ソサエティ 5.0)**」への準備として必要なことと考えることができます。
- 「**明けない夜はない**」と言われますが、今が一番苦しい時かもしれません。「**忍耐と工夫**」を心の柱にして、今を大切に頑張りましょう。
- **柏中の先生方も**、空っぽの校舎で、トイレや廊下を磨きながら来たる学校再開を思い描き、皆さんへの課題を準備しながら、ひとり一人の現在の様子を想像して過ごしています。
- そして、社会の一員としても、7～8割の移動削減に貢献しようと、皆さんが自宅で勉強しているように、在宅での勤務も取り入れています。
- 在宅勤務をしてみると、皆さんが置かれている立場の厳しさを痛感します。大人でさえ、すべてを自己管理しながら、学校という環境で活動することと同じ成果を上げることの難しさは相当に大きく、障害も多く存在します。
- 学校は、教育の環境としてあらゆるものが揃っており、安心してのびのびと学習や運動や人間関係を育むことができる場なのだということを、**改めて実感し、ありがたさをしみじみと感じます**。
- この状況の中、大人であっても心が折れそうになりますが、その度に先生方も「**忍耐と工夫**」という言葉を自分に言い聞かせ、前を向いて頑張っていこうと誓い合っています。

- これまでも学校再開の準備と計画を立てては崩し、崩しては立てるを繰り返してきましたが、次は6月の再開を夢見て、しっかりと準備をしていきたいと思えます。
 - 幸い5月は、生徒の皆さんと個別にはありますが、会って話す機会がつかれそうです。貴重な時間を有意義にしたいという思いで準備をしています。皆さんも遠慮なく相談したいことや伝えたいことがあれば準備をしておいてください。
 - また、学習課題も復習中心から、新しい教科書を使った予習中心に切り替えていきます。しっかりと計画を立てて、地道に取り組んでいきましょう。
 - それと、引き続き「お家の手伝いと読書」は、積極的に生活に取り入れていってください。心が豊かになり、きれいに磨かれます。
-
- 最後に再度の確認です。何度でも確認します。引き続き、健康管理には最大限の注意を払いましょう。手洗い、うがい、換気などの公衆衛生には高い意識を持って生活してください。また、熱や咳などの症状がある場合は、躊躇なく申告して、登校は控えるとともに自分の健康を第一に考えてください。もちろん不要不急の外出も控えてください。
-
- 以上でお話を終わります。

【保護者の皆様へ】

- 未曾有の臨時休校であり、本当に多くのご負担とご心配をおかけしていることに、心苦しい思いで一杯です。
- 学校としても健康と安全を第一にしながらも、多くの制約のある中で、許される限りの工夫の元に、支援を行っていきます。
- ご相談やお困りごとがある場合は、ご遠慮なくご連絡をいただければ幸いです。
- 来るべき学校再開の際には、これも健康と安全を第一にしながらですが、これまでの空白を取り戻すべく、最大限の準備をして取り組んでまいります。
- ただし、いろいろな意味でこれまで経験のない事態への対応が迫られていきますので、こちらからもご相談させていただき、ご理解とご協力をいただくことも多くなると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。
- ご家族の皆様には、ご健康に十分ご留意され、お元気にお過ごしいただけますことをお祈りいたします。